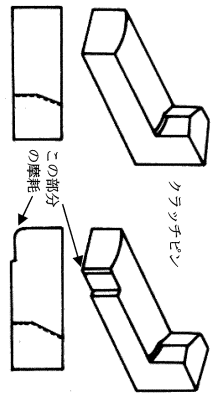
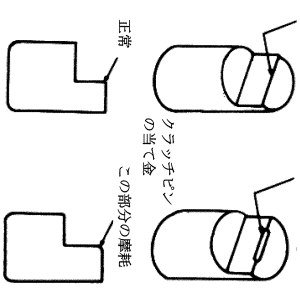


図１



（ａ）正常な状態　（ｂ）摩耗している状態
図２



（ａ）正常な状態　（ｂ）摩耗している状態
図３

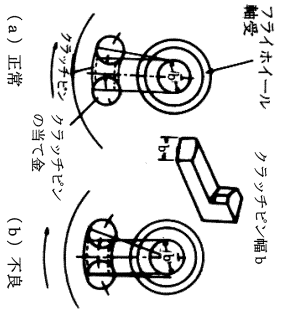


図４



図５

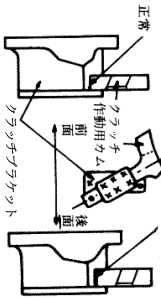
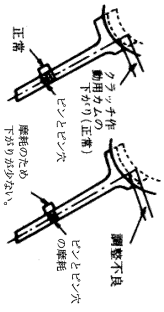


図６



（ａ）正常　（ｂ）摩耗及び調整不良
図７

図８

図９

○国土交通省告示第千八十六号

船舶設備規程（昭和九年逓信省令第六号）第百十五条の二十三の三第二項、第百四十六条の二十七の二及び第百四十六条の四十六、船舶消防設備規則（昭和四十年運輸省令第三十七号）第五条、小型船舶安全規則（昭和四十九年運輸省令第三十六号）第六十五条並びに船舶防火構造規則（昭和五十五年運輸省令第十一号）第十条の二（同令第二十七条第一項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、船橋からの視界及び船橋に設ける窓の要件を定める告示等の一部を改正する告示を次のように定める。

令和七年十二月二十四日　国土交通大臣　金子　恭之

船橋からの視界及び船橋に設ける窓の要件を定める告示等の一部を改正する告示

（船橋からの視界及び船橋に設ける窓の要件を定める告示の一部改正）

第一条　船橋からの視界及び船橋に設ける窓の要件を定める告示（平成十年運輸省告示第三百三十七号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改正後	改正前
（船橋に設ける窓）	（船橋に設ける窓）
第三条　規程第百十五条の二十三の三第二項の告示で定める要件は、次の各号に定めるとおりとする。	**第三条**　規程第百十五条の二十三の三第二項の告示で定める要件は、次の各号に定めるとおりとする。
一　極海域航行船等の船橋に設ける窓は、次に掲げる要件に適合するものであること。	一　極海域航行船の船橋に設ける窓は、次に掲げる要件に適合するものであること。
イ・ロ　（略）	イ・ロ　（略）
二　（略）	二　（略）

（航海用具の基準を定める告示の一部改正）

第二条　航海用具の基準を定める告示（平成十四年国土交通省告示第五百十二号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分のように改め、改正後欄に掲げるその標記部分に二重傍線を付した規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを加える。

改正後	改正前
目次	目次
第一章　（略）	第一章　（略）
第二章　航海用具	第二章　航海用具
第一節～第十一節　（略）	第一節～第十一節　（略）
第十二節　回頭角速度計（第二十二条）	第十二節　回頭角速度計（第二十二条）
第十二節の二　電子傾斜計（第二十二条の二）	
第十三節～第二十七節　（略）	第十三節～第二十七節　（略）